

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 山梨英和中学校・等学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
 住所 〒400-8507  
山梨県甲府市愛宕町 112  
 E-mail : js-info@yamanashi-eiwa.ac.jp  
 Website : http://www.yamanashi-eiwa.ac.jp  
 児童生徒数：男子 0 名 女子 502 名 合計 502 名  
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### ① 環境学習

中学3年次で全員が環境に関して調べ学習を実施し、その成果をポスターで発表した。高校1年次、高校2年次では、環境をテーマに課題研究を実施し、成果をポスターにまとめ日本語または英語で発表した。

自然科学同好会は、昨年度に引き続き、再生可能エネルギー、新しいバイオディーゼル燃料の開発、微細藻類とその利用について、山梨大学生命環境学部との高大連携の下、実験・自由研究を行った。今年度は、研究の成果として生成したバイオディーゼル燃料を使って、クリスマスツリー点火式を行った。また、ササラダニと土壌動物を指標とし、学校の裏山である愛宕山の環境評価を行った。研究の成果を発表し、評価を受けた。

日本学生科学賞 山梨県大会 県教育長賞 (11月)

私立学校部門 山梨科学アカデミー児童・生徒科学賞 (12月)

### ② Global Studies

高校1年次に学校設定科目「Global Studies I」を開講し、批判的思考力を養いながら、ミレニアム開発目標を題材として地球規模的問題について学習した。授業の一環として開催された4回のGlobal Studies講演会には、中学生全員も参加し、母子保健分野や地雷撤去などで国際的に貢献する講師の講演を聴いた。

### ③ 各学年のホームルームでの国際理解学習

#### ・「世界一大きい授業」

4月22日、中学全学年で「世界一大きい授業」を実施した。世界の教育事情について学習し、教育の必要性について考える機会を持った。

#### ・ユニクロ「届けよう服のチカラプロジェクト」

9月30日に、中学2年生は「服のチカラプロジェクト」の授業を実施した。これは、ユニクロと国連難民高等弁務官事務所とが協力し、世界中の難民・避難民の方々へ子ども服を届ける活動である。この日の授業は、ユニクロから講師をお迎えし、活動の意義と方法について話をうかがった。その後、10月から11月にかけて古着を集めユニクロに送付した。この活動を通して、生徒たちは隣人と分かち合うことを体験し、自分にも社会貢献ができるという実感を持った。

### ④ 海外研修

#### ・オーストラリア研修

7月31日～8月20日に実施され、中学3年生15名が参加した。最初の1週間はクイーンズランド州で英語による環境学習を実施した。海洋生物やアボリジニの植物利用について学習した。続く2週間は、ヴィクトリア州にある姉妹校メントン・ガールズ・グラマースクールに通い、ホームステイをしながら、英語の授業を受け姉妹校の学校生活を体験した。

#### ・カナダ研修

7月31日～8月20日に実施され、中学3年生29名、高校1年生9名、高校2年生4名が参加した。ブリティッシュ・コロンビア州で3週間にわたり英語学習を実施した。ファーストネイションズと呼ばれる先住民の民族の文化について学んだり、チャリティー活動にも参加した。研修の最後に、バンクーバー近郊の日系人高齢者施設を訪れ、交流の時を持った。

・タイ・ラオス研修

9月7日～13日に実施され、高校2年生2名が参加した。タイ・ラオスを訪れ、本校で奨学金を送っているダルニー奨学生を訪問し、小学校等で交流やボランティア活動を行った。

・ドイツ研修

10月5日～12日に実施され、高校2年生生理系クラス23名が参加した。環境先進国ドイツで、環境に配慮した技術や施設を見学した。姉妹校シュテッテン・ギムナジウムで研究発表を行い理科の授業に参加した。ホームステイを体験し、ドイツの家庭における環境保護意識を調査した。

・JICAカンボジア研修

3月23日～29日に実施され、中学1年生から高校2年生まで合計21名が参加する。カンボジアの諸問題を解決するため日々活動している国際協力現場を視察し、国際問題と国際協力について深く考える。

⑤ PHD協会研修生との交流会

11月7日(金)、PHD協会の研修生とスタッフの方々が来校され、中学3年生と交流した。PHD協会(Peace, Health&Human Development)はネパールで医療活動に従事された岩村昇医師によって提唱された、「物やお金の一時的援助を超えた草の根レベルの人材交流・育成」を目指して設立された団体である。言葉当てゲーム、ミャンマーのおやつ作り、民族衣装を着る、研修生の家族がおられる村の様子を教えていただく、などの交流を行った。

⑥ 英語・ハンゲル・ドイツ語・フランス語による詩編暗唱大会実施

国際社会に必要な多文化主義的価値観を育成し、卒業後も聖書の言葉を心の糧とする素地を作ることを目的に4年前に始まったこのコンテストに、今年は26名の参加を得た。詩編100編1～5節を、英語、ハンゲル、ドイツ語、フランス語のいずれかで暗唱した。中学1年生から高校2年生までの参加者は、それぞれに練習の成果を発揮した。

⑦ 英語劇

1月23日(金)に英語劇の発表会があり、中学全クラスと高校1学年のークラスがそれぞれ英語劇を上演した。

⑧ ボランティア活動

生徒会活動としてボランティア活動を行った。聖歌隊・マンドリン部は高齢者施設などで訪問演奏を行った。また、YWCAひまわり部は高齢者への配食サービスを手伝ったり、高齢者施設を訪問してボランティアを行うなど、積極的にボランティアを行った。YWCAひまわり部は全員がESDパスポートを持った。また、部活動ではないが、被災地を訪問した生徒3名にもESDパスポートを持たせた。学校としてESDパスポートを活用することは今後の課題である。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )